

「子育て支援事業」で、 地域の子育てに貢献

心理学を学ぶ学生たちが
地域の子育てを支援



前田 志壽代

人文学部准教授
Shizuyu Maeda

神戸学院大学では、地域と連携した「子育て支援事業」を、人文
学部人間心理学科・発達心理学領域
の学部生と人間文化学研究科・
臨床心理学系の大学院生が実習を
兼ねて実施し、高い評価を受けて
います。地域の親子がさまざまな
遊びなどで楽しい時間を過ごして
いるのが、大学授業日の毎週水曜
日に実施する「子育てサロン（有
限会社 神戸学院大学社会問題研究センター）」です。

毎月第3金曜日に行われている
「母と子のアートで遊ぼう（有瀬
キヤンパス・プレールームにて開
催）」も好評で、「芸術療法を専門
とする教員が中心となり、太学院
生がサポートし親子一緒に絵を描
いたり手芸品を作ったりして、楽
しくていいだいています」。このほ
か、近隣の保育園を学部生が実
習授業として訪問し、園児たち
と遊んだり、絵本の読み聞かせ
を行うなどの活動も活発に実施。
「学生たちは子どもが大好きで、一生懸命に
子どもたちの相

は、「洋画好きの両親に、よく映
画館に連れていくてもらいま
した。『禁じられた遊び』というフ
ランス映画（1952年公開）を見
た時、主人公の幼い男の子と女
の子が、周りの大人们の心ない
言動に傷つく場面が強く印象に残
り、私は将来、子どもを理解し味
方になれる仕事をしたいと思いま
した」。

夢へのチャレンジが、未来を創る
神戸学院大学

神戸学院大学では、地域と連携
した「子育て支援事業」を、人文
学部人間心理学科・発達心理学領域
の学部生と人間文化学研究科・
臨床心理学系の大学院生が実習を
兼ねて実施し、高い評価を受けて
います。地域の親子がさまざまな
遊びなどで楽しい時間を過ごして
いるのが、大学授業日の毎週水曜
日に実施する「子育てサロン（有
限会社 神戸学院大学社会問題研究センター）」です。

毎月第3金曜日に行われている
「母と子のアートで遊ぼう（有瀬
キヤンパス・プレールームにて開
催）」も好評で、「芸術療法を専門
とする教員が中心となり、太学院
生がサポートし親子と一緒に絵を描
いたり手芸品を作ったりして、楽
しくていいだいています」。このほ
か、近隣の保育園を学部生が実
習授業として訪問し、園児たち
と遊んだり、絵本の読み聞かせ
を行うなどの活動も活発に実施。
「学生たちは

前田准教授の主なテーマの一つ
は「生涯発達心理学」。従来の發
達心理学は、主に青年期までの変
化を扱う学問分野でしたが「生涯
発達心理学は、人間の受胎から老
衰死に至るまでの、生涯にわたる
心身の発達過程を研究するもので
す」。かつては大阪市立総合医療
センター（旧・大阪市立小児保健
保健福祉士として勤務し、主に子
どもを対象とした心理検査や心理
療法に携わっていた前田准教授。

「学生たちは
心理学に興味を持ったきっかけ
は、『洋画好きの両親に、よく映
画館に連れていくてもらいま
した。『禁じられた遊び』というフ
ランス映画（1952年公開）を見
た時、主人公の幼い男の子と女
の子が、周りの大人们の心ない
言動に傷つく場面が強く印象に残
り、私は将来、子どもを理解し味
方になれる仕事をしたいと思いま
した』。

子どもの心の問題の急増を実感
し続けていた前田准教授だけに、
子育て支援事業に対する思い入れ
は強く「2012年に実施された
本学・文部科学省共催の『熟議』
では、行政・地域施設・一般市民
の方たちと議論し、地域のニーズ
や今後のあるべき姿を探りまし
た。そして本学の立地する有瀬地
域は、就学前年齢の子どもが多い
にもかかわらず、子育て支援の専
門家が少なく、私たちが実施して
きたような子育て支援事業が不可
欠だと実感できました」。

また子育て支援に関わることで
学生たちは、子どもと触れ合うこ
との喜びを再認識すると同時に、
子どもたちの成長の早さに驚き、
子育て環境の大切さも痛感してい
るといいます。「子育て支援事業
は地域に役立つだけでなく、学生
にとって絶好の学びの機会でも
あると考えています」



臨床心理士を目指す大学院生が制作した、児童虐待
防止を啓発する冊子とDVD。冊子では虐待とは何か
や、虐待のサイン、相談件数の推移などを紹介。動
物キャラクターで優しく表現するなどの配慮もした

継続的に関わっていける
子育て支援のシステムを

グローバル・
コミュニケーション学部
2015年4月開設（設置構想中）

●有瀬キャンパス●ポートアイランドキャンパス●長田キャンパス（法科大学院）
神戸市西区伊川谷町有瀬518 TEL:078(974)1551㈹ www.kobegakuin.ac.jp/

学びの舞台は
ポートアイランド
キャンパス